

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ④ 観光等分野(6/6)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市)	3.2	3.5 進捗度 ・国際医療交流の推進 133% ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 76%	2.6 規制の特例等 ・地域限定特例 通訳案内士育成等事業 地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金 ・宿泊施設設置 奨励金 等	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・育成に努めてきた特区ガイドについて、「まち処」への配置、案内や特産品販売といった形で、その活用の形が整ってきたことは評価されて良い。また、特区ガイド団体等による地元商店等を行程に入れた、地元産品を題材にした体験型のツアー造成、その中での特区ガイドの活用も好ましく、活動の幅を広げるなどの工夫も評価したい。 ・大阪地区のホテル建設ラッシュによる飽和化が進むため、ホテル誘致を目的化すると誤る。並行して目的を明確にした魅力づくりに力を注ぐべき。 ・泉州タオルについて、通販サイトなどでも商品の存在感が高まっており資源の活用を期待する。 ・外国医師臨床修練等の受け入れ数について、飛躍的な実績の伸びを評価したい。 ・評価指標の上では、順調に評価を上げてきているが、国際医療交流とツーリズムの連関があまり見えない。